



おいしさで・しあわせをつくる

ダイショー



おいしさで・しあわせをつくる



第56期

株主通信

2021.4.1～2022.3.31

株式会社ダイショー

証券コード：2816



代表取締役会長 CEO

松本 洋助

取締役社長 COO

阿部 孝博

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに、当社第56期(2021年4月1日～2022年3月31日)の事業概況をご報告させていただくにあたり、ひと言ご挨拶申し上げます。

ダイショーは、「おいしさで・しあわせをつくる」という企業理念のもと、豊かな食文化の創造を目指し、時代とともに変化する消費者の「食」ニーズを先取りし、「焼肉のたれ」、「味・塩こしょう」、「鍋スープ」などの多彩な製品を他社に先駆けて開発し、新たな市場を創出してまいりました。

また近年、消費者の「食の安全」に対する関心の高まりに鑑み、当社は「安心・安全」を最重要課題と位置づけ、社内全部門で真摯にこの課題に取り組み、安心・安全でおいしく、かつお客様にとって利便性の高い商品を提供することで、長期安定的な企業の発展を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、何卒一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

**Q 第56期の業績について  
評価をお聞かせください。**

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなか、国内のワクチン接種と活動制限の緩和などにより一時的に持ち直しの動きが見られましたが、新たな変異株の感染再拡大、原油や原材料価格の上昇など、先行き不透明な状況で推移しました。

食品業界におきましては、昨今の生活スタイルや購買行動の変化を背景として、家庭内での食品消費に対する底堅い需要に支えられた一方で、原材料価格の高騰に加え、原油高や円安といった複合的な要因による物流および各種コストが上昇基調にあることから、厳しい経営環境が続きました。

こうした状況のもと、当社は、2022年3月期までの中期経営計画の最終年度にあたり、4つの基本方針(「主力製品の集中販売」「業務用製品のさらなる飛躍」「新製品の開発」「次世代の組織づくり」)の実現に向けた重点施策に取り組み、収益構造の改革と持続的成長を追求してまいりました。

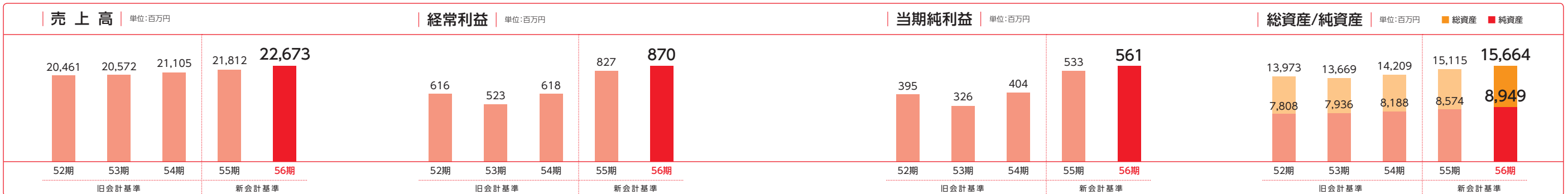
以上の取り組みの結果、当事業年度における売上高は、226億73百万円(前期比103.9%)となり、20期連続の増収となりました。利益につきましては、営業利益は8億61百万円(同107.8%)、

経常利益は8億70百万円(同105.2%)、当期純利益は5億61百万円(同105.3%)となりました。

なお、当期の配当につきましては、前期と同額の、1株当たり18円とさせていただきます。

**Q 製品分野別の業績について  
お聞かせください。**

液体調味料群の小売用製品においては、新型コロナウイルス感染症拡大にともなう家庭内での食事機会の増加が続きましたが、前年の同時期に見られた需要急拡大の反動による減速傾向が見られました。そのようななか、ロングセラー製品『焼肉一番』の復刻版『焼肉一番 CLASSIC』の積極的な販売促進やWebCMの展開が奏功し、売上を牽引しました。鍋スープでは、通年製品化に向け「春鍋」「夏鍋」をキーワードとして、季節に合わせたメニュー提案やSNSキャンペーンを展開しました。また『博多もつ鍋スープ』が発売30周年を迎えたことから、さらなる拡販およびブランド認知度向上を目的に、有名タレントの起用によるWebやテレビのCM、SNSキャンペーンなどのプロモーションを積極的に展開しました。新製品では、人気ラーメン店の監修による「名店監修鍋スープ」、もつ鍋の本場・福岡の有名店



※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を第56期の期首から適用しており、第55期に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。第54期以前の各数値については、旧会計基準等を適用したものです。

の監修によるもつ鍋スープ、野菜ソムリエの資格を有する当社社員の監修による「野菜ソムリエ監修」の鍋スープなど、「監修」をキーワードとする創意豊かなアイテムを投入し、ラインアップを拡充しました。これらのなかでも、濃厚なとんこつと辛味噌の旨みで人気のラーメンを鍋スープで再現した『名店監修鍋スープ一風堂博多とんこつ赤丸新味』などの「名店監修鍋スープ」がとりわけ好調に推移し、大きく売上を牽引しました。業務用製品では、新規開拓への取り組みを継続するなか、家庭内での食事機会の増加傾向が続き、惣菜市場の回復の影響もあり、精肉向け・惣菜向けのソースやたれが伸びました。

粉体調味料群においては、惣菜向け業務用製品が好調に売上を伸ばしましたが、『味・塩こしょう』を中心とした小売用製品は前年度の需要急拡大の反動の影響を受けました。

その他調味料群においては、「スープはるさめ」シリーズの新製品『機能性表示食品 GABA配合スープはるさめ』に加え、栄養価の高いオートミールを用いた、お湯を注ぐだけで簡単に作れる「オートミールde」シリーズ2品を投入し、即食製品群は一層ラインアップが充実し、業務用製品も好調に推移しました。

## Q 第57期の見通しについてお聞かせください。

長期化するコロナ禍との共存環境下における「新たなライフスタイル」の定着により、今後も「内食」へのシフトやネット販売市場のさらなる拡大などを含む食品市場の変化が加速するものと予想されます。加えて、お客様の生活防衛意識や節約志向、食の安全への要求の高まり、食品ロスなどの環境・社会問題、原油や原材料費の高騰など、数多くの経営課題への対応が求められています。とりわけ「原材料費の高騰」への対応は、来期の喫緊の課題です。

「販売数量のさらなる拡大」や、「魅力ある新製品の開発」など、攻めの施策によってコスト増を吸収しつつ、営業活動と製品

競争力をさらに強化し、「適正納価の堅持」に努めつつ、「製造経費・労務費・販管費の効率改善」に努めます。

当社は、第57期から第59期までの3カ年における新中期経営計画を策定しました。次世代を切り開くダイショーらしさを確立し、企業価値のさらなる向上を目指し、成長を持続させてまいります。

小売用調味料市場に対しては、主力製品の一層の売上拡大に向け経営資源の集中を図るとともに、消費者の多様なニーズを捉えた価値ある製品の開発と、機動的かつ魅力あふれる販促・広告活動による後方支援を強化します。

また、業務用調味料市場の開拓に向け、スーパー、ドラッグストア、コンビニエンスストアなど販売チャネルごとの専任部署によるメニュー開発・提案を強化しラインアップの拡充に努めます。さらには、順調に推移している海外販売体制を一層強化し、売上の拡大に努めます。

こうした業容拡大にとまない、すでにフル稼働状態にある九州工場の排水処理能力を2倍に増強する工事が完成し、関東工場においても将来の増設を見据え用地の拡張計画を進めています。

これらの取り組みを加速させることで売上の拡大と利益率の改善を目指すとともに、組織マネジメントの改革や次世代人材育成への投資を積極化し、さらには、「認知度・満足度・生産性の向上」「商物分離」など喫緊の経営課題の解決および中長期的な事業分野の「選択と集中」に向け、新たな主力製品の開発や販売チャネル戦略の立案など、事業再編や機会創出の機能を強化してまいります。

来期の業績見通しにつきましては、売上高232億円、営業利益8億50百万円、経常利益8億50百万円、当期純利益5億40百万円を予想しております。

今後もダイショーの強みである開発力と提案力に一層の磨きをかけ、お客様・お取引先各位との信頼関係を大切にしながら、全社一丸となって事業のさらなる成長と業務の一層の効率化に努めてまいります。

## 「九州工場」大規模排水処理施設が稼働



当社は、九州工場に大規模な排水処理施設を建設しました。2021年に発売30周年を迎えた『博多もつ鍋スープ』に代表される「鍋スープ」群などの定番製品や新製品の販売好調で生産設備のフル稼働が続いていることとともない、排水処理能力の大幅な増強が必要になったため建設に至りました。処理能力は最大2倍に拡大しており、今年の3月から稼働をしています。



### 大規模排水処理施設の特徴

新設された排水処理施設は、高度な技術による処理と円滑な維持管理が可能になりました。

排水を分解する役割をもつ微生物について、担体(微生物の住処)を2種類採用することにより、段階的な処理を可能にしました。排水能力が上がったため、処理に余裕ができ、既存施設も含めて管理が容易になりました。今後は、薬剤使用量と脱水汚泥の搬出量の削減を見込んでおります。



曝気槽 (曝気槽)



曝気槽用送風機 (ブロー)



管理制御盤

## 「健康経営優良法人2022(大規模法人部門)」に認定



当社は、このたび、経済産業省と日本健康会議が共同で選出する「健康経営優良法人2022(大規模法人部門)」に認定されました。

会社において、社員の「心と体の健康」は重要な経営課題のひとつであると認識し、2021年6月に「健康経営宣言」を行いました。「おいしさで・しあわせをつくる」を企業理念とする当社は、「豊かな食文化」の創造を目指し、「安心・安全」を第一義に企業活動を行っております。会社の成長を支える社員と、その家族の心身の健康を重要な経営資源のひとつとして捉え、健康維持・増進活動を組織的に推進するとともに安心して仕事に取り組める、働きやすい職場環境づくりに努めています。

### 健康経営優良法人の認定を受けようと思った経緯

少子高齢化が進む日本では生産年齢人口の減少にともなう労働力不足が問題となっています。数ある企業のなかから当社を選んで入社された社員に対し、離職という選択肢を少しでも減らすべく、誰もが心身ともに健康で生き生きと働くことができ、治療と仕事の両立ができる、働きやすい職場をつくりたいという思いがありました。職場環境の向上は会社の魅力ともなり、採用力の強化にもつながると考えています。

### 工夫・こだわり

現在は、全社員へ向けて産業医による講話の配信・視聴確認を行っています。今後は会社の業務内容を活かして、管理栄養士の資格を持つ社員に自社製品を使った健康的なレシピの考案を依頼し、SNS等で公開していきたいと考えております。

### 健康経営優良法人の認定をもらって良かった点

社員が自分自身の健康について考える機会が増え、意識の高まりを感じられるようになったことや、会社が社員の健康についてより深く目を向けて、全社一体となって取り組みを進めることができていると実感しているので、良かったと思います。



総務人事部  
井戸 智子

### 今後の課題

社員やその家族の健やかな生活習慣の普及を目的に、運動を通じた健康づくりを向上させ、生活改善の実行・定着を目指します。また社員の生産性や組織の活性化等の指標測定の設立や、喫煙率を下げるための取り組みの実施などが今後の課題です。

### 「オートミールde」シリーズ



#### POINT!

今回お届けする株主優待の中から、ダイショーのおすすめ商品をご紹介します。「スープはるさめ」に続き、お米と比較して栄養価が高く、お湯を注ぐだけで簡単に食べられる「オートミール」を使った商品を開発しました。この商品の注目ポイントは「小分けタイプ」で使いやすく持ち運びがしやすいこと、その日の気分に合わせて2種類の味から選べるようにしたこと。オートミールを食べたことがないという方にも是非一度お手にとって召し上がっていただけたらと思います。

▶株主優待「オートミールde中華粥」



商品企画部  
小林 綾香

#### POINT!

近年の健康意識の高まりは、コロナ禍においても同様で、健康的なイメージの食材や調味料を選ばれる傾向はさらに強まっています。このような「健康意識の高まり」=「野菜」へのニーズに合わせ、どうしたらお客様の野菜摂取をサポートできるかと考え、「野菜本来の魅力をお客様に伝える調味料」のご提案として、味や食べ方にこだわった野菜ソムリエ青野菜菜<sup>※</sup>監修の野菜専用調味料を開発しました。

<sup>※</sup>青野菜菜(せいのかな)は、「青果」と「野菜」のアナグラムで、野菜ソムリエの資格を有する当社社員のペンネームです。



商品企画部  
竹之内 友季

### 「野菜ソムリエ青野菜菜監修」シリーズ



#### POINT!

「博多もつ鍋スープ」の発売開始から30年。看板商品となったもつ鍋を、おいしさそのままに通販限定でお客様に味わってほしいと商品開発されました。もつの食感とスープの絡みは絶品で、野菜のうまみも増して余すところなくお召し上がりいただける自信作です。まだまだ、ダイショーが冷凍もつ鍋のセットを販売していることをご存じない消費者の方がたくさんいらっしゃいます。様々な方法で告知を行い、認知度向上に努めてまいります。



通信販売部  
松田 恵美子

### 通信販売専用商品 「博多もつ鍋セット」



牛もつ、ちゃんぽん麺、濃縮スープ、乾燥にんにく、唐辛子付き

#### POINT!

植物由来の原材料を使って、肉や魚などに似せて作ったPlant-Based Foodは、健康や環境保護、SDGsの観点から注目されています。Vegan-Vegetarianの市場はマスマーケットではないですが、週に1~2回Vegan Foodを食べる“Flexitarian(フレキシタリアン)”<sup>※</sup>と呼ばれる人は増えているようです。動物性食材なしでもおいしく食べる工夫とアイデアでPlant-Basedマーケットに挑戦していく覚悟です。

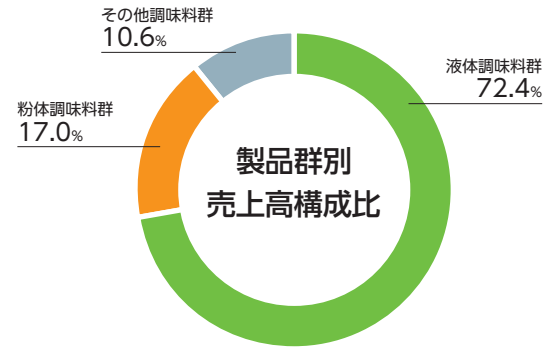
<sup>※</sup>Flexible(柔軟性)とVegetarian(ベジタリアン)を組み合わせた造語



海外営業部  
安田 昌平

### 輸出専用商品 「Vegan」シリーズ





売上高	226億73百万円	前期比	3.9% 増
営業利益	8億61百万円	前期比	7.8% 増
経常利益	8億70百万円	前期比	5.2% 増
当期純利益	5億61百万円	前期比	5.3% 増

品目別売上状況

液体調味料群

たれ

小売用は、ロングセラー製品「焼肉一番」の復刻版「焼肉一番 CLAS SIC」が積極的なプロモーションやWebCMの展開等により、売上を牽引しました。  
業務用では、新規開拓への取り組みを継続するなか、家庭内の食事機会の高まりの継続と惣菜市場の回復の影響もあり、精肉向け・惣菜向け製品が伸長しました。

スープ

前年に続き、鍋スープの通年製品化に向け「春鍋」「夏鍋」をキーワードとし、季節に合わせたメニュー提案やSNSキャンペーンの展開を推進しました。また「博多もつ鍋スープ」の発売30周年に合わせ積極的なプロモーションを展開しました。新製品では、「監修」をキーワードとした創意に富んだアイテムを投入し、このなかでも、人気のラーメンを鍋スープで再現した「名店監修鍋スープ」シリーズが好調に推移し、大きく売上を牽引しました。

ソース

小売用は、主力の「ローストビーフソース」や「スペアリブソース」などを中心に堅調に推移しました。  
業務用では、精肉向け・惣菜向け製品の伸長により、大きく売上を伸ばしました。

粉体調味料群

小売用は、「味・塩こしょう」を中心に前年度の需要急拡大の反動の影響により、苦戦いたしました。  
業務用は惣菜向け製品が好調に推移し、売上を伸ばしました。

その他調味料群

小売用は、前年度の家庭内需要急拡大の反動減の影響で苦戦しましたが、「スープはるさめ」シリーズの新製品や、お湯を注ぐだけで簡単に作れる「オートミールde」シリーズ2品を投入し、即食製品は一層ラインアップが充実しました。  
業務用は好調に推移し、売上を伸ばしました。

貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	前期末 2021年3月31日現在	当期末 2022年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	6,839	7,252
固定資産	8,275	8,412
有形固定資産	6,908	7,029
無形固定資産	147	117
投資その他の資産	1,219	1,265
資産合計	15,115	15,664
<b>負債の部</b>		
流動負債	4,605	4,791
固定負債	1,935	1,923
負債合計	6,540	6,715
<b>純資産の部</b>		
株主資本	8,490	8,878
資本金	870	870
資本剰余金	379	379
利益剰余金	7,354	7,742
自己株式	△114	△114
評価・換算差額等	84	70
純資産合計	8,574	8,949
負債純資産合計	15,115	15,664

- 流動比率は151.4%と前期末より2.8%向上し、返済能力がアップしております。
- 有形固定資産は九州工場における設備導入のため増加しております。
- 負債の増加は主に短期金銭債務の計上によるものであります。
- 自己資本比率は57.1%と前期末より0.4ポイント向上し、さらに充実しております。

損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前期 自 2020年4月 1日 至 2021年3月31日	当期 自 2021年4月 1日 至 2022年3月31日
売上高	21,812	22,673
売上原価	12,877	13,405
売上総利益	8,935	9,267
販売費及び一般管理費	8,136	8,406
営業利益	798	861
営業外収益	43	24
営業外費用	14	14
経常利益	827	870
特別利益	36	—
特別損失	42	10
税引前当期純利益	821	860
法人税等	287	298
当期純利益	533	561

- 売上高は、前期を3.9%上回り20期連続の増収となりました。
- 営業利益は増収のなかコストの効率化に努め、増益となりました。
- 経常利益および当期純利益も営業利益と同様、増益となりました。

※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当事業年度の期首から適用しており、2021年3月期に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

… 精肉
 … 鮮魚
 … 青果
 … 食品

<p>[240g] 焼肉一番匠</p>	<p>[65g] 肉しゃぶサラダの素</p>	<p>[450g] お肉ソムリエ監修 チキンガンボ風 トマトチキンスープ</p>	<p>[70g] CoCo壱番屋監修 うま塩カレースライス</p>	<p>[80g] ヤンニョムチキンの素</p>
<p>[76.5g] トンテキの素</p>	<p>[100g] (2回分) サムギョブサルの素</p>	<p>[175g] 伝説のすた丼屋監修 すたま丼のたれ</p>	<p>[80g] シーフードソムリエ監修 レンジで簡単 チョッピーノソース</p>	<p>[80g] シーフードソムリエ監修 レンジで簡単 アクアパッツァソース</p>
<p>[62g] ペロット&amp;ピーマン用セット</p>	<p>[95g] ばばっと逸品 キャベツ1/2個で2品 ガーリックバター炒めのたれ&amp; ザク切りキャベツ用だし酢だれ</p>	<p>[150g] クワイ・パイナップルで作る ピネガーシロップ</p>	<p>[750g] 野菜ソムリエ 青野菜菜監修 野菜をいっぱい食べるスープ ミネストローネ用スープ</p>	<p>[750g] 野菜ソムリエ 青野菜菜監修 野菜をいっぱい食べるスープ ポトフ用スープ</p>
<p>[86g] (2枚分) 山芋鉄板焼きの素</p>	<p>[79.8g] (4食分) オートミールde中華粥 鶏粥&amp;海鮮粥</p>	<p>[80g] 味・塩こしょうwithハーブ</p>	<p>[126g] (2回分) 名店監修 一風堂赤丸とんこつませそばの素</p>	<p>[126g] (2回分) 名店監修 麵屋武蔵だし醤油ませそばの素</p>

会社概要

(2022年3月31日現在)

**社名** 株式会社ダイショー (英訳名)DAISHO CO., LTD.  
**本社** 東京本社 〒130-0014 東京都墨田区亀沢1丁目17-3  
 TEL: 03-3626-9321 FAX: 03-3626-9393  
 福岡本社 〒812-0064 福岡市東区松田1丁目11-17  
 TEL: 092-611-9321 FAX: 092-611-8288

**ホームページアドレス** <https://www.daisho.co.jp>  
**設立** 1966年12月19日  
**資本金** 870百万円  
**事業内容** たれ、スープ、粉末調味料など製造販売  
**従業員数** 702名

役員

(2022年6月29日現在)

**取締役** 代表取締役会長CEO 松本 洋助  
 取締役社長COO 阿部 孝博  
 取締役副社長 松本 俊一  
 専務取締役 中西 昌至  
 常務取締役 坂田 恵補  
 取締役 矢野 宏一  
 取締役 根岸 宏樹  
**社外取締役** 本郷 伸介  
**常勤監査役** 牛塚 良信  
**社外監査役** 成清 一郎  
**社外監査役** 馬場 正宏

株主優待ご案内



株式の状況

(2022年3月31日現在)

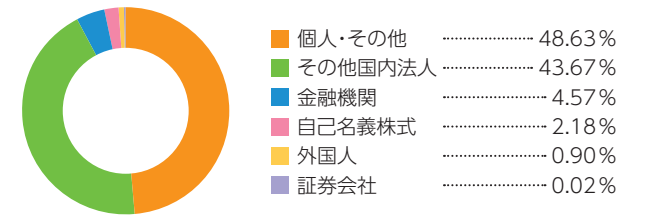
**発行可能株式総数** …… 24,000,000株  
**発行済株式の総数** …… 9,868,800株 (自己株式216,088株を含む)  
**株主数** …… 19,092名  
**大株主**

株主名	持株数(単位:千株)	持株比率(単位:%)
有限会社山田興産	2,442	25.30
一般財団法人金澤記念育英財団	1,488	15.41
松本賢子	853	8.84
ダイショー従業員持株会	274	2.84
松本洋助	206	2.13
株式会社西日本シティ銀行	180	1.86
株式会社福岡銀行	97	1.01

(注)当社は自己株式216,088株を所有しておりますが、上記の表には記載しておりません。

株式分布状況

(2022年3月31日現在)



株主優待制度の内容

- 対象となる株主様**  
毎年3月31日、9月30日現在の株主名簿に記載された**100株以上**ご所有の株主の皆様を対象といたします。
- 贈呈品** 自社製品詰め合わせ  
● 1,000円相当…100株以上  
● 2,000円相当…500株以上  
● 3,000円相当…1,000株以上  
● 6,000円相当…5,000株以上

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
定時株主総会	毎年6月開催	電話照会先	TEL 0120-782-031(フリーダイヤル)
剰余金の配当基準日	期末配当…3月31日 中間配当…9月30日 その他必要がある場合は、 あらかじめ公告して定めます。	公告方法	当社のホームページに掲載。 <a href="https://www.daisho.co.jp">https://www.daisho.co.jp</a> ただし、電子公告によることができない事故 その他やむを得ない事由が生じた場合には、 日本経済新聞に掲載して行います。
単元株式数	100株	上場金融商品取引所	東京証券取引所 スタンダード市場 (証券コード 2816)
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社		

### ●住所変更、単元未満株式の買い取りのお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## 株主様アンケートご協力をお願い

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。  
(所要時間は5分程度です)

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます


●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です


①下記URLにアクセス ②アクセスコード入力後にアンケートサイトが表示

 <https://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード **2816**

.....以下の方法でもアンケートにアクセスできます.....

 検索窓から

 [kabu@wjm.jp](mailto:kabu@wjm.jp) ←こちらへ空メールを送信  
「件名」「本文」は無記入。アンケートのURLが直ちに自動返信されます。

 スマートフォンから  
カメラ機能でQRコード読み取り  
QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。 <https://www.link-cc.co.jp>

「e-株主リサーチ事務局」  
MAIL: [info@e-kabunushi.com](mailto:info@e-kabunushi.com) (2201)  
アンケートのお問い合わせ



〒130-0014 東京都墨田区亀沢1丁目17-3  
TEL:03-3626-9321(代)  
<https://www.daisho.co.jp>



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。



PROJECT-  
With the Earth  
この冊子の印刷・製本に係るCO<sub>2</sub>は  
PROJECT- With the Earth を  
通じてオフセット(相殺)しています。

